

落書きを消してきれいで安全なまちに

1 稲積小学校の児童35人で、地域の安全のため、危険な場所をまとめた地図を作成することに。子どもたちは六つの班に分かれ、実際に地域を歩いて危険な場所を探しました。



2 その後、調査結果をまとめた「地域安全マップ」が完成。子どもたちは、地域には思ったよりも危ない場所があることを知り、安全のために何かできないかと思いました。



3 そんな子どもたちの思いを知った氏家さん。町内会で安心安全なまちづくりに力を入れていたこともあり、子どもと一緒に橋の下の落書きを消すことに決めました。



稲積連合町内会 会長
うじいえ きよし
氏家 清さん

4 特に落書きで汚れていたのが、稲積地区の前田橋。約1時間かけて、子どもと大人が一緒になって、ペンキを塗りました。



落書き消しに参加した
稲積小学校5年
かきざき りょうた
柿崎 良太くん

5 壁がきれいになり、大人も子どもも大満足。その後、稲積地区では、子どもたちのアイデアで、手作りの看板が公園に立てられるなど、子どもの意見を取り入れた新たな取り組みがスタートしています。



まちづくりに子どもたちの視点を生かそう



うじいえ きよし
稲積連合町内会 会長 氏家 清さん
子どもからは、大人では思い付かないような意見が出てきますよ。今後も子どもたちの新しい発想を生かし、さまざまな活動を一緒に行っていきたいですね。

壁がきれいになってうれしかった



かきざき りょうた
稲積小学校5年 柿崎 良太くん
ペンキを塗り終えてきれいになった大きな壁を見て、やり遂げた満足感がありました。途中で腰が痛くなったけど、壁がきれいになって良かったなあ。

参加した
子どもの声

条例について、もっと詳しく知りたい方は

子どもにとって大切な権利や、権利の侵害から救済する機関の仕組みなど、条例の内容をイラストを用いて分かりやすく紹介したパンフレットを配布します。



配布場所 子どもの権利推進課(中央区南1東1大通バスセンタービル3階)、区役所など

配布時期 3月25日(水)から

条例の詳しい内容はホームページにも掲載しています。
www.city.sapporo.jp/kodomo/kenri

子どもの笑顔があふれるまちに

うえだ ふみお

札幌市長 上田 文雄

市では、札幌の未来を支える子どもたちが伸び伸びと育ち、責任感ある大人になることを願い、子どもの権利条例を制定しました。

これをきっかけに、市民の皆さんも、子どもの権利についてあらためて考えていただき、子どもが参加する取り組みが広がるよう、意識してみてください。市は、そうした活動が活発になるよう、支援していきます。

子どもたちの笑顔あふれるまち札幌を、一緒につくり上げていきましょう。

